



平成 29 年 3 月 1 日現在

総人口	12,690人
男	6,170人
女	6,520人
世帯数	5,167世帯

地域が家族になるために

— 島内農業文庫講座 —

去る 2 月 24 日、本年度第 6 回目の農業文庫講座が開催され、松本大学スポーツ健康学科の犬飼己紀子教授 (青島在住) の講演と実技が行われました。

社会の高齢化が進み、高齢者のひとり暮らし世帯や、介護等を必要とする高齢者のみの世帯が増加しています。それに伴いコミュニケーション・繋がり・健康を地域で支え合う関係を創る必要や、孤立・生きがい喪失を防ぎ、健康長寿を柱とした「社会参加」の重要性が増しています。

今こそ必要！ 地域を繋ぐプラチナパワー



緒にやれると嬉しい (仲間意識)、あなたがいて助かりました (信頼強化)、これが出来たら次にいこう (自信強化)、私がやることです (責任感強化) 等々の信頼関係が築かれていくということでした。最後にヒトは人 (ひと) との間 (ま) で「人間 (ひと)」になると講演を結ばれました。

講演の後、人と人を繋ぐ活動の実践として、ゲーム・体操・寄せ書き等を参加者全員で体験しました。

◆ 地域のための農業文庫
この文庫の成り立ちは、平成 3 年 9 月に竣工した島内地区の圃場整備に遡ります。

この工事により道路や圃場が整然と整備されましたが、周囲の環境は一変し、地域の将来を憂慮した改良区の方々が、環境の改善や文化の向上に役立てようと、約 4 千冊の図書を備え、公民館の一隅に図書室を造りました。

その後、平成 10 年 10 月に運営委員会が発足し、この活動に深い理解を示された和田元東京大学教授から 1 万 5 千冊の蔵書が寄贈されるなどして、今日まで運営されてきました。

講座は年 6 回で、28 年度は、5 月に世界遺産「富岡製糸場」などを訪ね、6 月は「混乱の時代の生き方」と題した中野元松本大学学長、9 月は「昔話・民話のナゾを解く」と題した藤森信州大学教授の講演会、10 月は真田宝物館などの見学、12 月は子どもたちのための「正月の伝統行事と遊び」の講座を開きました。

今後も島内公民館、図書館と三者共催の講座を開催し、生涯学習の支援と地域づくりに寄与したいと願っています。

島内農業文庫運営委員会
会長 高島 清次

開催 200 回目 小宮東部カラオケ同好会



同好会は毎月 1 回、会員の都合の良い日の夕方、千円会費による折詰とお酒で、2 時間内で各自の十八番を歌うのが定番となっています。

小宮東部カラオケ同好会

は、平成 11 年 4 月に公民館の移転新築の記念として、常会内の方から機器を寄贈していただいたことから、有志が結成、今年 1 月には開催 200 回目を迎えることができました。

地域の繋がりも希薄になりがちな昨今、私たちは今後カラオケを通して若いも若きも (?) 楽しんで交流する会として 300 回を迎えたいと思っています。

高山 太久郎

延べ 400 名参加 松島町会健康マージャン

松島町会健康マージャンは、熟年者を主体に、相互の親睦と文化教養の向上、さらに心身の健康増進を目指し「飲まない、吸わない、かけない」を約束事に平成 26 年 7 月に発足しました。

隣接する青島町会との年 2 回交流会を行っており、今後は女性の参加も拡大し、益々発展していくよう努めていく所存です。



現在は 18 名が毎月 2 回和気あいあいと松島公民館で楽しんでいきます。各回の出席率は非常に良く、また好評で昨年度は新人の研修者を含め延べ 400 名が参加しました。

新春大会、納涼大会のほか、

島内
歴史
講座

「近代島内の山岳信仰」

島内公民館と史談会の共催で2月16日、犬飼山御嶽神社を中心にした「近代島内の山岳信仰」をテーマに歴史講座が開かれました。松本市の学芸員小原稔さん(青島)が講師を務め、37人の住民が身近にある石神仏や祭事について学びました。

犬飼山御嶽神社は、平瀬川東の山中にある八滝神社がその前身と伝えられている。島内の御嶽講は江戸末期の文政11年(1828年)頃青島西村にでき、その後、南中、高松、小宮、北方などに慶応3年(1867年)頃まで広がり、明治4年(1871年)に犬飼山御嶽神社が成立した

と、神社の歴史について説明されました。神社の最盛期は明治10〜20年代で、祭事で行者によるお座立て(占い)や火渡りなどの儀式があり、それを見物する人が何百人も来たそう。昭和の終わり頃までは火渡りを行っており、50年代に細い薪を燃やした後を渡る行者さんを見たことがあります」と神社の関係者でもある小原さんの体験です。



神社には本殿の祭神の他に境内一帯に250から300軒といわれる数多くの石神仏が祀られているのが特徴で、「今年7回の祭事の中でそれらのお祭も行っている、行者が平成22年以降いなくなり、祭りに参加する信者は減ってしまった」と話されました。

その他の島内地区内の石神仏についての解説もあり、参加者の興味は尽きない様子でした。胡桃島内公民館長は「昨年全戸配布した『島内歴史文化財マップ』も参考にして頂きたい」と、熱心に質問をする参加者に呼びかけ、講座を締めくくりました。

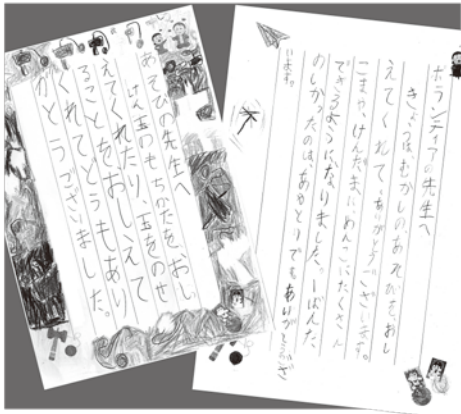
地域と共に 子どもの行事あれこれ



昔のあそび 小学1年生と地区の皆さん



小学2年生の豆腐作り 温度が決め手。



島内公民館ギャラリー

「ピアッサ」の予定

山岳写真展
4月10日~4月28日

五月人形展
5月9日~6月1日



親子たいそう



島内・島立ふれ愛コンサート